

生いたち

海老名リンは、嘉永二年（一八四九年）に、会津藩士日向新助の娘として生まれました。

幼いころからかしこく、手先も器用でしたから、まわりの人々からかわいがられて育ちました。このころは、男子はやがて武士になるのだからというので、日新館という学校で学ぶことができましたし、また、幼いころから遊びの仲間として、きびしく育てられていました。しかし、女子は大きくなつて嫁に行き、夫によくつかえ、子どもを育てればよいのだから、学問などする必要はないとされてきました。

だから、リンのようにかしこく、すぐれた能力をもつていても、教えてもら